

図書館だより



2019年 (令和元年)
12月16日・月曜日

第 27 号

北海道旭川永嶺高等学校
図書館

冬休みの貸出しのお知らせ

もうすぐ待ちに待った冬休みですね。長期の休みなので普段、なかなか時間の余裕が無い人も、たまにはじっくりと読書してはいかがでしょうか。

冬休みに伴い、休業期間中は閉館するため、下記の通り長期貸し出しを実施します。

貸出日	12月24日(火)まで
貸出冊数	1人 5冊まで
返却日	1月21日(火)まで

新着図書も展示しています。
是非図書室にいらしてください。
お待ちしております。



図書館員、求む！

局員5名のうち、3年生2人が卒業してしまうと、2年生1人、1年生2名のみとなります。そのため新年度からの活動が厳しい状況です。

図書局は活動日も多くなく時間も短いので負担は少ないです。個人負担金もありません。

人数は少ないですが、和気あいあいとして楽しく活動しています。場所は図書室(二階の南階段左)です。主な活動は、「図書館報」の発行やの書架の本の整理などです。

高文連の全道大会(新年度は函館市開催)や地区大会(旭川市開催)にも参加(希望者のみ)し、他校との交流や情報交換にも努めています。興味のある人は、顧問の牧野先生か図書館員にお知らせください。



クリスマス、あれこれ(その2)

昨年の「クリスマス、あれこれ」の続きです。クリスマスに関わる疑問、質問について局員が調べました。

質問1 サンタクロースのソリをひくのは、なぜトナカイなのか？

回答 サンタクロースのモデルとされる聖ニコラウスが元々使用していたのはラクダですが、トナカイはラクダに似た姿(色)で、キリスト教圏は北方が主なため、跳躍力の高いトナカイにイメージを重ねたためとする説が有力です。

参考 『トナカイはなぜサンタのそりをひく？』岩波書店



質問2 サンタクロースはなぜソリに乗っているのか？

回答 アメリカの詩人クレメント・ムーアが、自分の子どもたちに『クリスマスの前の夜』という詩を書きました。「物音で目をさましたお父さんが、窓から外を見ると、サンタクロースがそりに乗って夜空をとんできた」という内容です。この詩はみんなに親しまれ、その後、サンタクロースの乗り物はトナカイが引くソリというイメージが定着したようです。

参考 『クリスマス事典 改訂』.あすなろ書房

質問3 「クリスマス」に関わるお勧めの本は？

回答 定番では『クリスマス・キャロル』や『墓掘り男をさらった鬼の話』チャールズ・ディケンズ 岩波書店ほか、『賢者の贈り物』(O・ヘンリー 岩波書店ほか)『火あぶりにされたサンタクロース』(レヴィ=ストロース)、『クリスマス週間』(A P チェーホフ)『死せる人々』(ジェイムズ・ジョイス)などがあります。

図書局員のおススメの本

下記の図書は新着図書の中から局員の勧める本です。冬休みの読書にいかがですか。

疾風の女子マネ！

まはら 三桃 小学館
請求記号 913 M

この本は主人公がリレーでインターハイを目指していく熱い物語、ではありません。「いい男」を狙うという不純な動機でマネージャーとして入部した女子高生「咲良のちょっと変わった青春」ものです。本作の見どころはズバリ主人公の成長です。少し甘い考えでいたのが、試合や部員達との関わり合いの中で徐々に変化していきます。自分なりに葛藤しながらも部員達のため、一直線に奔走するところが読んでとても面白かったところです。

笑いあり、されど読むと気持ちが高ぶってくる、一風変わったこの本をぜひ読んでみてください。

蜜蜂と遠雷

恩田 陸 幻冬舎
請求記号 913

ピアノのコンクールを舞台にして描かれた、直木賞を受賞し、今年映画化もされた作品です。様々な背景を背負いながら、ピアノという楽器に魅せられたコンクールの参加者達が自身の才能や運命に葛藤する様子が繊細な表現で鮮やかに描かれています。

登場人物同士の関係性や彼らの置かれている環境の複雑さ、自分の意識と周りの目の差、才能の有無での苦悩などは、音楽だけでなくわたしたちの日々の悩みにも通じるところがあり、感情移入しやすいです。

音楽経験者、未経験者に関わらず、一度は読んでみてほしい本です。